

SSH通信9月号では、オクトースキルズの意識調査について紹介します。
岡山一宮高校では、毎年度「8つのチカラ(オクトースキルズ)」についての意識調査を行っています。
この調査の目的は、オクトースキルズについてどの程度身に付けているのかを調べることです。

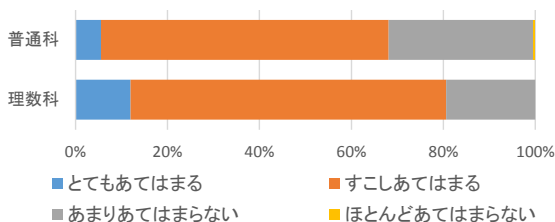
「科学技術イノベーション人材」になるための8つのチカラ(オクトースキルズ)

I 実験・観察力	観察や実験を行い考察ができるチカラ
II 情報収集活用	情報を収集し、取捨選択し、活用できるチカラ
III 論理・創造的思考力	物事を論理的に考え、独創的な発想ができるチカラ
IV コミュニケーション力	考えを伝え合い、理解し合うことができるチカラ
V ディスカッション力	活発な意見交換をすることができるチカラ
VI ファシリテーション力	グループ活動などを効率よく円滑に進めることができるチカラ
VII チームワーク力	協力して物事を達成させることができるチカラ
VIII 専門教育に必要な学力	普段の学習で身に付けるチカラ

意識調査は、アンケートに答えてもらう形式で行います。35の内容について質問を行い、その結果を分析することで皆さんがどの程度オクトースキルズを身に付けているのかを明らかにします。

例えば、37期生の生徒が1年次の12月に行った調査結果の一部を見てみると、ディスカッション力で「とてもあてはまる」、「すこしあてはまる」と回答した生徒が普通科も理数科も約8割という結果から、「活発な意見交換をすることができるチカラ」を身に付けている生徒が多いことがわかります。

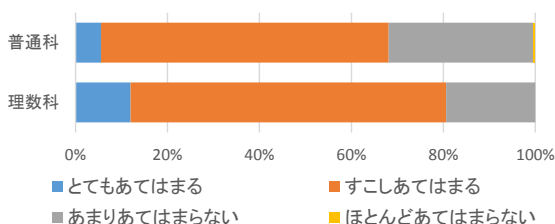
ディスカッション力



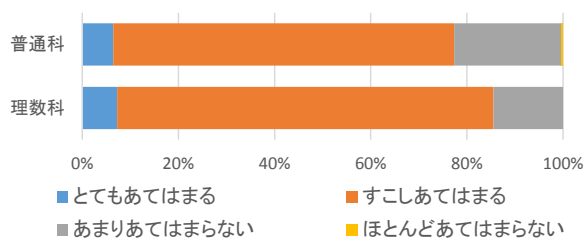
さらに、2年次や3年次でも同様の調査を行うことで皆さんのオクトースキルズの変化についても調査を行います。

例えば、37期生の1年次と2年次の調査結果の一部を比較してみると、ディスカッション力の割合が上昇していることがわかります。

ディスカッション力(1年次)



ディスカッション力(2年次)



オクトースキルズについての意識調査は、大事な調査となりますので適当に回答せずきちんと自分の力について考えながら回答するようにしてください。